

LEON- TODD

N-ro. 17



1956

NOV.

N-ro 17.

E N H A V O

1. Flugaj xiaj Semoj	1. U.	22
2. スコルニツク姉弟両博士を迎えて	{アリマヨシハル	1
	坂下清一	6
3. “話 しま しょう”	高橋要一	7
4. 埋 火 (5)	相沢治雄	9
5. ぼくの海、わたしの海	早川 昇	13
6. R.O による北海道エス界 (IV)	坂下清一	16
7. HEL 蔵書目録 (IV)		18
8. 会 員 名 簿		23
9. 会 計 報 告		25
10. 第20回北海道エスペラント大会報告書		26
11. あとがき		35
12. 表紙についてのお願い		35

全エスペランティストの必携書

日本エスペラント運動50周年記念出版

エスペラント運動便覧

— 朝比賀昇編 —

100部限定 B5判 111P 170エン

発 売 所

日本エスペラント学会

スコルニック姉弟両博士を迎えて

アリマ・ヨシハル

1956年9月6日は、朝からグランドホテル、山形屋旅館、丸窓旅館など外人の泊りそうな旅館にかたっぱしから電話をかけて「アルゼンチンからのお客をスコルニックという人は泊っていないだろうか」と問合せることぞいぞがしかつた。

東京のエス学会の三宅さんから8月31日村速達便で「近日中にアルゼンチンのエスペランチスト D-ro Scolnik 夫妻 (コルドバの R E A の del.) が北海道へ行きます。あなたのご住所を知らせておきましたから、どうかよろしくおねがいたします。正確な日どりについては仙台へ連絡を依頼しておきます」というハガキが9月1日に届いていたし、9月4日には「スコルニックゴヒツクイサイフミ・センダイシブ」という電報も入っていたので、ゴヒは5日で5日に到着されるものとサツボロの Samideanoj 特に S-roj 相沢、坂下、西里、木村と共にわたしは Scolnik 博士の乗車を、仙台からのフミととも待つていた。ところがかんじんのフミが5日になっても届かないので Gedoktoroj の到着時間がわからない。その後仙台からのフミは速達ハガキだったのが6日朝に届けられ、それによつてすでに前日5日の昼「大雪」を到着しておられることがわかつた。5日の夜の「マリモ」に S-roj 相沢と木村の2人が迎えに出て、会えなかつたのもムリないわけだ。

旅館をしらべてわからず、交通公社にそれらしい男女の外人の乗車ことは判つたが名前がわからないという。また北大内の道路を外人男女が歩いているのを見たとおしえてくれた人もあつたが、実際はたしかめようがない。しかたなくわたしを訪ねて乗られるのを待つより方法がなく、今は Samideanoj に連絡するイトマもない。

6日の8時すぎ、夕食をはじめようとしているとき、ちょうど外を見ていたゴドモが「アツ! スコルニックさんがいらしたヨ。だけどニツポンのおじさんと3人だ」という。なるほど3人だ。日本人の緊肉着がついているとの通知はなかつたから、フシギに思つて玄関に出てみると、「この外国人がアリマさんをおねがひしてさまよつていたのでお連れしました」とニツポンの外人はわたしに説明してくれた。日本人をさえ、見付けにくい私の家を外人がよく近くまでたづねて来たものだ。2人の外人をながめると、S-ro の方が
Cu vi estas Arima? と問いかけて来た。Jes. Cu vi Scolnik? と

答えて、あとは *Bonvenon. Eniru! Eniru!* とあわてて入室をうながした。

2人が玄関でクツをぬいでいる間に、家族の若が繰出で大急ぎにヘマをかたづけ、ザブトンを並べたのえ *Sidigu! Bonvole sidigu!* と導いた。何しろ自宅へ外人を迎えるのは初めてのことであり、その上、もしかするとアルゼンチンの博士が2人も来られるかも知れないと聞かせてあつたので、家族皆があわてている。ザブトンの上に足を横に投出して横坐りにしている2人を見たわたしの家内が、ちようどヘマの隅に敷いてあつたワラブトンを折畳んで低いソファ型に作り、そこへ坐るようすすめると壁の上が良いとのことだった。

ゆうべはドゴに泊つたのだらうと思つて、*Kie vi tranoktis hieraŭ vespere?* とたずねてみた。すると「札幌市北2条東1丁目都旅館」と書いた *papereto* を見せてくれた。まさか苗穂の3流旅館に宿をとつているとは思わなかつた。これじやさがし当てないのもムリはない。わたしが「都旅館」という漢字をゆびさして「ミヤゴリヨカン」と読んで聞かせてから、*Mijako estas Urbo kaj Rjokan estas Hotelo.* と説明すると、それを聞いて *Doktorino Scolnik* が *Rjokan* *Mijako* と発音した。Ne, me estas Rjokan *Mijako*, *Sed* *Mijako-Rjokan* といふとケゲンな顔をしている。そして *Rjokan* は *Jadoja* ではないかと質問する。そこで *Jadoja* はニツポン古来のコトバで、*Rjokan* はシナ伝来のコトバ、*Hoteru* は英語から来たコトバで日本人はヤドヤよりはこのシナ語と英語の方を使うと説明すると、HO! と目を丸くした。

Gedoktoroj Scolnik を三宅さんからのハガキには夫妻と書いてあつたが、仙台支部からの連絡には「*gedoktoroj Scolnik estas gefratoj, S-ro* *Mijake erare Sciigis al mi, Ke ili estas geedzoj.*」となつていたので、*D-ro Scolnik* にたしかめてみると、*D-ro* は *D-imo* を指さして「アネ」姉という。わたしが *Mi pensis, Ĉu ŝi estas pli juna fratino?* といふと *D-imo* が「そんなに若く見えるか」と喜んでいた。

敬告にわたしの家族を *edzimo*, *filino*, *unua filo*, *dua filo* の順に紹介すると、長男に向つて高等何年かと問うので、「*em unua grado*」と答えると、*Esperanto* は出来るか? と再び問いかけて来る。Ankoraŭ ne とわたしが答えると、セヒ学ばなければいけないと長男にすすめる。*Mia edzimo* の名は *Ĉieko* で、*filino* の名は *Taeko* だと説明すると、*Ĉu Ĉieko kaj Taeko estas floro?* と *D-imo* の方がたずねる。しかしわたしは、はじめその意味がのみこめなかつた。今; が2~3度 *floro?* と

繰返したときにやつと意味がわかった。チエゴ、タエゴというのは花の名なのか? ということを知っているのだ。Ne, me! me estas floro, と答えると、Si, ĝi estas Mia nomo estas "Rosa", Rosa estas rozo, flora nomo, mi estas Ros Scolnik という。そして弟の名は Jaime (ハイメ) Scolnik というのだと説明してくれた。

アルゼンチンでは何語を使っているのかとたずねると Hispana lingvo だと D-ro が答えた。そこで、3ヶ月ほど前にNHKのラジオ放送の土曜、日曜の朝6時から30分間ラジオ講座でスペイン語を勉強したことがあるので、そのテキストを持って来て見せる、Ĉu vi lernas hispanan lingvon? と聞くので、jes, en radio と答えると Legu といつて会話体の部分を10行ほど読まされた。ひつかりながら読みおわると、Bone! とほめてくれた。

Hispana lingvo estas same al Esperanto. Ĉu me? というので、D-ro が Jes, ĝi estas simila al Esperanto と答えた。スペイン語を勉強して見ると発音が Esperanto によく似ているものが多いし、日本人にしにくい発音はあまりないことがわかる。このためか Gedoktoroj Scolnik の Esperanto はよくわかり、またわたしのおぼつかない Esperanto もわかるようだった。

ちやうど、その日 aĉeti してあったスイカを差上げると bongusta, tre bongusta と云ってたべておられるので、Ĉu vi ŝatas? と聞くと、Jes, mi tre amas akvomelomon, という。そしてスペイン語では「サンディア」というのだと教えてくれた。これをキツカケに話はユトバのことに移った。Bela Boma はニツポン語を何というのかと Doktorino がたずねた。Bela は ucukuŝii aŭ kivei, Kiveima で Boma は joi aŭ ii だと説明すると、わかったような判らないような顔でうなづいていた。

Ĉu en viaj vojaĝoj vi uzas nur Esperanton? とたずねてみると、まだ Esperanto が世界に広く普及していないから Esperanto だけではだめで、自分たちは英語とスペイン語も同時に使っているとの返事だった。D-ro Scolnik は非常に遠慮ぶかいらしいので世界の Esperantistoj を利用することをせず結局 Esperanto は普及していないと感じられるのかも知れないとも考えてみた。

明7日は朝7時発の急行で Siraoi のアイヌ部落を訪ねてその夜は Toja 温泉で泊り、Hakodate にも一泊して、Aomori を至て12日にTokio に行き、朝舟に渡って、再び日本に戻って来たなら Kioto, Hiroshima, Nagasaki を見物してから11月に日本を去る予定だと話しておられた。そこで私は、4年

前買つて世界の Samideano に送った原爆被害を初公開したアサヒグラフ
1952年版の残りのノ部を D-ro Scolnik に差上げた。Lはあつく感謝して受
取つて下さった。アルゼンチンをいつ出発されたのがとたずねると、去年の
5月で、もう1年以上になるとのこと。日本をあとにしたら次は Ameriko に
渡り、Kamado をまわつてから Argentino に帰るとのことに、姉弟でこん
なにのんきな世界旅行をしていて妻は無いのだろうかと思う。Doktoro!
Ĉu vi havas infanojn? と聞いてみると、Jes, filinon nur unu. と答え
て、すぐ Si estas 18 jara kuracistino. とゴトバを続けた。すると D-ino
が Lia edzino estas en Argentino とつけたした。2年近くも妻を放つ
ておいて姉弟で旅してあるくとは何とうらやましきことよだ。

わたしが満洲に28年余り住んでいて8年前に日本に帰国したという、今
あそこは共産国になつていますねというので、Jes, Sed mi me amas Kom
muniston kaj Komunistojn. と返事すると、D-ino は頬をしかめ、舌
打ちして首を左右にかり、Ankaŭ mi me multe amas Komunistojn. と
吐き出すように言った。

Scolnik 姉弟と話していて感じたことは発音が美しくよくわかることだつ
た。こちらの云うこともわかるらしいので会話にだんだん自信が出て来て、
よしこれを機会に Esperanto の会話をうんと練習しようと思つた。それか
らもう一つ気付いたことは、わたしの言うことがわからなかつたり、発音が
はつきりしないときは自分になつとく行くまで何べんでも聞き返し、念を押
すことだつた。遠慮がたいニッポン人特にわたしなどは何べんでも聞きかえ
すのは相手に失礼なようで、とかくいいかげんに聞いてやめてしまい勝だが、
それではかえつて失礼になることがあるかも知れないので、D-ro Scolnik の
ようにはつきりした方がいいのだと感じた。

Gedoktoroj の服装は非常にかんたんで質素なものだつた。約1時間ほど
して foriri されるというので玄関で D-ro にクツペラを差出すと、いらな
いとのこと。足もとを見ると D-ro はクツシタをはいておられない。D-ino
の方はさすがにクツシタをはいておられたが、服はワンピースのかんたんな
ものだつた。旅館のおかみの話ではフロは旅館のに入り、もちろん寝具も
日本人のものを使われたが、食事は全部自分で買つて来たパンとリングです
ましておられました。お2人ともトテモ良い方でした。お手紙でも出される
ときにはヨロシクお伝え下さいと云つていた。Gedoktoroj はどこに行くに
も歩くか電車で、ハイヤーなどは使われないようだつた。

帰える2人を道路まで見送つたが、家族がサヨナラと大声で別れのゴト

ペを送ると、D-ino が Kio estas "Sajna"? と聞くので、おや ji はまだ Sajomara をごぞんじなかつたのかと、ふしぎにおもいながら、Ne estas Sajna. Sed Sajoomara. "Sajoomara" estas adiaŭ. というと、D-ino は Sajoomara を何處もくりかえしていた。あなたはクツかと D-ro がわたくしにたずねたので、Mi estas Kvardek maŭ-jara. と答えると、Oh. Same al mi, mi estas Kvardek maŭ-jara Kaj kvin monatoj. と笑いながら言っ、姉は50才だと付けたした。2人は何處も礼をのべながら手をふつ、5丁さきの電車停留所へ向つて歩いていった。

S-roj 相沢、木村、西里などに連絡とれて、どこか感じの良い Teejo だけでも Kunvena Kunsido が開けたら、もつと楽しく感懐深い会合になつただろうと非常に残念だつた。坂下さんが都旅館に近いならお知らせしたらとの家内のコトバにさつそく S-ro 坂下 だけには電話で連絡とつた。

翌朝の時に、Gedoktoroj を見送るためにプラットホームで待つたがついに見出せなかつた。念のため3番待合所をながめ回すと D-ino が見つけた。改札口の方から D-ro がやつて来るので声をかけるとどこかに行くのか? という。Ne, me と打消して見送りに来たのだというコトバを思ひ出している、「見送りに来てくれたのか?」と向うをかわって言つてくれた。わたしら3人並んで話しているとドコカの女学生3人が何語だろうといった顔でながめている。そこで、わたしは彼女等に「わたしたちが今はなししているコトバはエスペラントです。この人たちはアルセンチンから来た博士で、エスペラントだけでよくわかるんですよ、世界を回るにはエスペラントに限るしとても便利なコトバです」と宣伝してやつたが、感じたのが判らないのか、無表情な顔を聞いていた。

そのうちに普通列車の発車時間が来たので列にならんで話合つた。Ĉu S-ro Sakasita vizitis vin hieraŭ vespere? とたずねてみると、Ne. li me vizitis min. と言つて、ケゲンな顔をするので、わたしはおかしいと思つたので再びたずねて見たが、やはり Ne との答に、変におもつていると、D-ro がわたしに向つて Ĉu vi estas S-ro Sakasita? というので、Ne me. me. mi estas Arima. と答えると Se estas tiel, S-ro Sakasita certe vizitis min. と、やつとなつとくいつたようだつた。はじめは S-ro sakasita と mi とを取りちがえていたらしかつた。時間が来て、改札が始まると Adiaŭ, multe dankas vin. mi tre dankas vin por via bonkoreco. Adiaŭ! と2人は代るがわる礼をのべてプラットホームへ出ていった。

スコルニック姉弟両博士を迎えて

坂下 清一

S^{ro} アリマの記事の通り、駅へ出迎へたり、ホテルへ電話したり大騒ぎをした結果どこにも見当らないスコルニック姉弟が、なんと、二丁程離れた都旅館に居るとのアリマ氏の電話で御存知のように会話の不得手な私は、元小將エスペラント会話会の斗将高橋要一君をさそつて訪問しようと思つた。S^{ro} 高橋に電話したところ折悪しく所要で出掛けて不在、意を決して独りで訪問することにした。20時過ぎアリマ氏の処から帰つてゐるかどうか旅館に電話したがまだ帰つて来ていないが、向いの果物屋で買物をしてるのかがどうもぞうらしいといふので、早速出掛ける。

小樽で Zimmerman, Major, Fedorčak 等と話したのは多数の同志と相手は一人だったが、今度は相手が二人で当方一人、覚悟して和エスを持参する。J.E.I から書いてきた名簿に、札幌はアリマと坂下が載つてゐる。然し此ノの9となつて来も面もかいてない。これなら近くの私のところより、遠いアリマ氏の正確な住所を教えるのが当りまえだ。

新しいがあまり立派といえないお屋の和室に二人の床が敷かれてゐる。純日本式に姉さんは今風呂へ入つてゐるという。しばらく D^{ro} と話す。正確な発音でわかりやすい。その内浴衣をきた姉さんがくる、はっきりした発音だが二人でペラペラやられると返答に困る。私は下手なのだからゆつくり話して呉れどたのも、いや正確な発音だなどとおだてられる。行程などを聞く。全然金銭をかけない方法だ。タクシー等は一切つかわず、市電、バスを利用する。宿も食事別の宿泊先の安い処をさがし、食事は近所からパンと果物を買つて食べる、これなら安くあがるわけだ。札幌駅で駅員に紹介して貰つた由。

英和辞典を持っていて、今も Kudamono を買つてきたと話す。日本は英語を知つていれば、ある程度不自由がない、とエスペランティストには一寸痛いことをいう。尤も駅でも、バスでもエスペラントは通用しなくとも英語なら比喩でも一寸通じるだろう。Where station だけで中学生でも駅を教えてくれる筈だ。実際問題としてのエスペラント宣伝と実用に就いて考えさせられる。何を話したのか一人で1時間半も話し込んで、22時近くに辞去した。旅館のぬるいお茶を一杯のんだだけで、Gis Yevido とはいえないから Bon vojagom と言つてきた。



話 しまし しょう。

高 橋 豊 一

Esp 活動の面に於いていつも問題になることが幾つかある。その一つは折角企画された講習会が一応盛会に了つてもその後に残る S-amoj が全く少いこと、いつの例会もあまり活気がなく自然に出席者、それも初歩者の出席が少くなつていくことである。

これには色々原因があること、古い S-amoj の熱の入れ方にもよるし、Esp 学習の目的がはつきりしていないこともその一つである。全く現在の我々の周囲の状況では Esp が日常生活の中で必要に迫られることがないのだからやむをえないことでもある。然し我が国の中学校課程にさえ採用されている英語教育の現状も必要性から視れば似たりよつたりではないだろうか。我々の生活の中に採入れられている外国語の単語の数などは多かが知れたものであるし、それによつて特に我々の生活が影響されることもあるとも思われぬ。

Esp 学習の動機は人によつて異なるのは勿論であるが、案外突然とした興味から始める人が多いのではないだろうか。そしてこれらの人達は Esp の基礎文法が容易なものであることを認識するにつれて、語いを覚えることと、これを自由に駆使する為には他の自然語と同様に一方ならぬ努力の必要なことを知つて、更に深い研究に没頭する勇気を失うのではないだろうか。これは私自身についても云えることであるが、それにしても今だに Esp から全く縁の切れないのはどうしたものだろうか。今は勉強する時間がないとか何とか云つてはいるが、学習を始めに当時の覚気込は大変なものであつた。余暇とゆう余暇は全部 Esp に投入し、まるで Esp にとりつかれた様な時代があつたのに。

さて、始めの問題に戻るが Esp 活動の今後の課題の一つとして、新しい S-amoj を確実に Esp-istoj として育ててゆくにはどうしたらよいかということである。

まずテキストに従つて一通り初歩の課程を終る。次に進む途はやさしい読物によつて輪読形式を探りながら単語を覚え、文法の細部に入るのが今までの多くの方法であつた。このやり方は確かに必要であり、又より高度の研究の基礎を固める為には確かに有効な方法である。然し考えてみなければなら

ないのは、果してこれが最良の方法であるかどうかである。“言葉は生きている。そして我々がEspを学び初めた動機は、主にこの言葉を母国語と同じに自由に駆使したいという期待から生じたからだ。よしんば各自の目的が種々雑多であるにしてもである。

英語はむづかしい、仏語は性別がどうだ、独語のオ何格がどうした、我々が日本語と全く系統の異なる外国語を学ぶには、特別に語学の才能のある少数の人達を除いては、全くこれらの障害に直面してトタンの苦しみを味わはなければならず、遂には折角の努力も途中で空しく挫折してしまうのである。

Espの学習にも同様なことが云える。なる程、文法は簡単であり、初歩課程は容易に通過できる。がこれからが問題だ。輪読形式もよいだろう、ある指導者によつて一種の学習を進めることもよいだろう。だが果して、これで永く我々の学習に興味をつないでゆけるだろうか。それだけでEspを自由に駆使していける様になれるだろうか。

読めるだけではだめだ、作文ができるだけでは言語として充分に役立たせたとはいえない。話せなければならぬのだ。話すことになれることによつて興味も生れれば、語学かも一層増進しその速度を早めることができる。

例会に於ける学習には文法講義に併行して会話の習得にもっと力を入れなければならぬ。これによつて我々の会合はもっと活気あるものとなり、より一層Esp.語のもつ特性に気付き、Esp.の学習とEsp.運動への勇気をかきたてられるであろう。

ここで会話練習について愚見を述べてみよう。何の学問でも同じだと思うが、語学などは殊にそうである。初歩のうちは何論、少し進めば尚更自分の学力に自信がもてず、自分の表現が間違つてはいはしないか、笑われはしないかと気になつて兎角おく病になりがちである。会話の練習についてはこの様な考えを捨てなければならぬ。

オ一に話すことにもっと勇敢でなければならぬ。

オ二に話す者もその対者も相互に程度を合わせる様に努めなければならぬ、初歩者は自分の程度を高める為めに努力し、程度の高い者はこれを理解してやらなければならぬ。

まだ必要な条件はたくさんあるかもしれないが具体的にはその都度取上げていけばよい。言葉は必要に迫られれば必然的に覚えられるものであり、又覚えなければならなくなる。まだ選らない気の毒なソ連抑留者達はどうかであろう、文法的には正確でないかもしれないが日常生活には事欠かない程度にソ語を解し、話すことができる様になつていよう、私の僅か2年間の

シベリヤ生活に於いてさえもうこの事実を経験したものである。

細見は文字を識り、文法に習熟してから自分の意志の発表を言葉に託すであらうが。

“初めに言葉ありき”とか、まづ話そうではないか。

Espはやさしく学べる。そしてEspは生きている。話しましょう。Espを。

ザメンホフはその為はその尊い一生を捧げたのだ。この言語によつて人類に平和をもたらそうと!!
(OCT. 27. 1956)



埋 火 (五)

相 沢 治 雄

全道エス大会のうつり変り

今秋9月23日札幌で第20回目の全道エスペラント大会が開催された。会場は町会館である。大会のプログラモは別に記事が出ているから詳細はそれを御参照願いたい。今年度の大会の特徴としては参加者の数が非常に多かつた事と婦人の参加者が多かつた事をあげねばならない。それから少々スラシオコーパではあつたが司会がよかつた事も何年ぶりである。私はエス運動に足をかみ入れてから25年位になる。これは何も自慢して云う訳ではない。むしろエスペラント運動に加わつていながら何もなす処なく疋馬と日を送つて来たかと思つと慚愧に耐えない。ただ毎年大会には必ず出席していたので今迄の20回の大会には1回もかゝしていない。そして又全道大会にかゝらず出席して居たのは私1人だけである。第1回の全道大会の事は前に書いた。その後の大会の事も記録をしらべて書く事にする。今回は戦前の大会と、戦後の大会のあり方と云つた様な抽象的な問題を述べるに止める。

1. 大会と連盟の關係

戦後も度々問題になり、場合によつたら今後も問題になるであらう事の1つに大会と連盟の問題がある。全道エス大会は北海道エス連盟の大会と考へたいし、ある人はそう考へている。又第1回大会は明らかに北海道エス連盟の結成のために大会が開催されたはずである。しかし何時の間に於て大会と連盟に分りして存在するのだという考へ方が起り、大会開催の機会に連盟の統

会を開催するという形式を取る様になった。こうせざるを得ないのは、大会は全道エスペランチストの大会であつて全道のエスペランチストは即ち連盟の会員ではない。尤もこの大会を連盟の大会と考える事が出来ないという論理的な理由がある。理窟はそういう事だが、無理矢理に大会はエス連盟と何も関係がないんだぞとどならなくてもよかつたのではないかと思う。誤解されると困るがどなる人がいたのは戦前の事である。戦後はアリマさん等北海道エス大会は連盟の大会であるべきだと主張した。しかし私は前に述べた論理的な理由でやはり別のものと考え全道エス大会の機会に連盟総会を開催するという建前を取つている。なぜならばエス運動がさかんになれば必ずこの問題が起つてくるからである。日本エス大会は学会の大会ではない。日本にあるエス団体及び日本にいるエスペランチストの大会であつて学会は日本大会の機会に総会を開催する。理窟にはあつているのだが私連ならどちらでもかまわない様な気がする。たとへば日本エス学会が総会を兼ねて日本のエスペランチストを集めて大会を開いたつて何も悪い事はないぢやないか。どうも内地(私はいつもいわゆる本州の事を内地という。間違つて、あるいは又知らないで内地と書いているのではない。北海道は大八州とかオノエロ島の中には入っていない。本来のヤマトの国とは別なものだ。)のエスペランチストの中にはすい分偏狭な人が居る。うっかり学会を開催する今年度の日本エス運動五十周年記念大会等と云へば、記念大会は日本エスエラント運動五十周年記念行事委員会が主催するのであつてエス学会とは何等関係がないと言う様な言分をする。何とかかんとか言つても中味は同じなのだからどうこだわる事はあるまいと思う。札幌等は(日本で一番エス運動がさかんでないと言うので方々から忠告されているのだから、エス団体が組織されていますの運動していますと言えた義理ではないが——然しまるきり無い訳ではないのだから)札幌エス会連盟日本エス学会支節と必要に応じて適当な看板を使つている。北海道のエス運動も戦後は地に落ちた形だから全道大会とエス連盟の関係もうるさく論議された事は戦後になつてからはない。しかしこの点はずきりしておかないと必ずあとで問題になる。

2. 世界連邦の問題

今年の大会に世界連邦の問題が出た。連盟として世界連邦の運動に対して協力する用意があるかという様な質問が二三問答を交わしている中に、エスペランチストは組織を挙げて、つまり北海道エス連ならエス連盟そのものが、団体で世界連邦運動に加入すべきであると主張している様な形になつてし

まった。之には満場ア然呆然とした有様であつた。公式な会談でこんな間違も珍らしい事だが、エスペランチストに限らず広い意味での社会運動をやつてゐる人がよく陥る錯覚だから、注意しなければならない。社会党の人があらゆる社会主義者は社会党に入らなければならない。だから労働組合員は社会党に入党しなければならないと云うのを聞いた事があるし、共産党の人が同じ事を言つてゐるのを聞いた事もある。エスペランチストはエスペラントを学びそれを普及しようといふ事だけで結ばれるべきだ。だからエスペランチストの集會に資本家と共産党員、仏教徒とキリスト教徒が同席しても何も不思議もないしケンカもしない。世界連邦主義者がエスペラントの思想と世界連邦主義が合致するものだからエスペランチストは世界連邦主義者であらねばならぬと考えるのもおかしいものだ。私は世界連邦運動をよく知らないから、その様な考え方をするのは連邦主義者の二、三の人だと思つたが、もし連邦運動それ自体がその様な考え方をする運動ならその故にだけで私は反対したい。なんぼずぼらな私でもエス運動の自主独立は守りたい。

3. 分科会を持たなければならない。

大会には分科会を持たなければならないとの提案がなされた。エスペラント大会なるものが開催されるとすれば分科会を持つのは当然の事である。北海道大会で分科会を持つた事がある様に思つたがよく考えて見ると一度もない。24回日本大会の時婦人、文学、科学、鉄道等の分科会が持たれ北海道大会も分科会の形、(あるいは時間と云つた方が正しいかも知れない。)で開催された。オノ回目の全道大会の事は前に書いたが、講演会とか弁論大会等あつたが分科会はなかつた。分科会を持つとすれば現在の処学生婦人等の分科会位であらうと思われる。大会の参加者が毎回30人前後だからその他の分科会がなく、又あつても出席者が少なかつたり、どの分科会にも出席したくない人が多かつたりするのでプログラム作製が困難になる。時間的な関係も考えなければならない。終戦後の大会は毎回1日ですましているし、それも10時頃から始めて4時頃終らしている。だから全道のエスペランチストが集つて年に1回顔を合せの会に止まつてゐる様な有様だ、とても分科会までは出来なかつたし、今年度の大会に西里君が提案するまで誰1人として分科会が必要だと思つた人はいなかつたかも知れない。しかし大会には分科会を持ちたい。

4. 大会の議案

今年の大会にはあまり大仰な提案はなかつた。戦前及び4.5年前の大会に

はよくエスペラント会館の設立だとか北海道エス連盟を法人組織にする話だとか新聞に広告用の記事を書かせるには都合のよい様な提案がなされていた。

それだけ意気込みだけ盛んであつたのは結構だが実現する見込みもない様な問題をやたらにふり廻した態度はやはり反省しなければならない事であろう。

やはりエス運動は地味にノ人がノ人の同志を見出して行くといった行き方でコツコツとやつて行かなければならないのだし、北海道では全エスペラントの総力を結集しても何程の力もない。先づ同志をふやす等と自分自身の学力を向上させる等を考えなければならない。大会にも100人位参加する様になったら分科会等必ず持たなければならない事になるし、試案の決試も社会からも注目される様になるだろう。小さな集会の決試でも大きな結果を生む事がないでもない。例へばネオロギスモ反対決試(やたらに新語を使用するハンガリーの詩人連中のやり方に対してザメンホフの文体を守れとの警告的宣言)が北海道大会から日本大会に提案され日本から世界大会に提案され決試された様な事もあつたが、自分自身が強固な地盤に立っているのだから大きな決試をしても、決試のやりっぱなしであと辻末をする事も出来ない。

5. 大会への希望

全道大会の参加者の数は50人位集つてほしいと思う。地方で個人的に研究をされている人は別としてやはり各地方会の代表は必ず出席してもらいたいと思うのだが戦後その地方会がはつきりしなくなつたのは残念である。帯広、旭川、函館など早く会を結成してもらいたいと思う。室蘭からは今年の大大会にカモさん始め婦人の方々が出席され近く室蘭エス会を結成される等の事であつたが、よろこばしい事である。大会の時間も毎年短かいのは残念だ。やはり昔の様に2日間にした。大会の開会式がすめば正午で、連盟の総会と大会協賛会を一緒にして2時間位しか課題審試の時間がなく出席者同志のコン談会等わずかの時間しかとる事が出来ない。一つには至費の關係なのだが2日間にする事は不可能であろうか。今度の大会に何故毎年大会を9月23日頃するのかという質問が出た。これは以前には2日間大会がつづいたので9月の連休(9月23日頃連休になる事が多かつた)を利用する事が多いのでその名残りである。

今年はお20回の記念大会だというのに、準備委員会では何一つ記念大会らしい事をする事が出来なかつた。委員の1人として慚愧に耐えない。終戦後もう十年も経つている。今後1回又1回と大会の内容を充実して行く様に力

をつくしたいと思う。



ぼくの海 わたしの海

(早川 昇訳)

La sesa grado lernanto de Sakai
Elementa Lernejo

S-ro Yosiyasu Nakayama

mi estas tute kortuŝita de tiel kura-
ĝaj kaj dankindaj impresoj el la film-
oj de la japana ŝiparo kiu ĉasas la
balenojn en la glaci monto-fluanta An-
tarkta Oceano, kaj ankaŭ de la kom-
dotoj de la salmo - aŭ trutokaptistoj
en la senlima nordmaro kun ondegoj
furiozantaj kaj nebulo densa.
Kvankam nia lando, Japanujo, est-
as ĉirkaŭigita de la maro el ĉiuj
direktoj, la eksterlandaj ekperi-
mentoj de la atombombotiel limigis ĝi-
an laborsferon en sudo. Kiel en no-
rdo ankaŭ la limo de fiŝkaptado.
Miesperas, ke nia lando kaj Sovetio
pli frue interpacigu, kaj ankaŭ
ke niaj ĉiuj marvivantoj deposte
laboru ĝissate en la maro, por ke
ili faru bonon al la popoloj de la mo-
ndo. Kun la ĉeĝifilego de ĉiri la kvie-
com de la tagiĝo eklumigas la
tago por la haveno Otaru. Ankaŭ
hodiaŭ por komercaj ŝipoj de ekster-
landoj jen estas enirantaj en la
havenon kun la flirigantaj nacista-
nindardoj: la estndardoj de leviganta suno
de la Britujo. aŭ de steloj kaj stiloj.

白地にくつきり日の丸をそめた日章
旗をマスト高く上げて、氷山の流れる
南極洋にクジラを追う船団。荒波と霧
の深い北のはてしない海にサケ、マス
をとる人々のすがたを映画でみて、勇
ましさとありがたさで胸が一ぱいだっ
た。四方海をかこまれた世界三大漁場
の一つに教えられている日本も、南は
外国の原爆実験のために、北は漁かく
制限で作業するくいきがせばめられた
。早く平和になつて、漁で生きる人が
海で思うぞんぶんゆき、世界の人々の
ためになつてほしいものです。ポーツ
と明け方の静けさを破つての汽笛に、
港小粋のノ日は明けてゆく。きょうも
また貿易の船は日の丸、ユニオン・ジ
マツク、星条旗などなびかせて入つて
くる。あらゆる国の船が、もつともつ
とたくさん入港する日が遠くない気が
する。港内では荷荷、あげ荷、通船と
なかなかのにぎやかさである。海に生
れ、港に育つた小粋の子は、ノ日とし
て海を忘れることができない。

La Sesaj grado lernantino de Tenjin
Elementa Lernejo

Fino Taka-ko Sudoo

Amkoraŭ nun mi bone memoras, ke «早く、早く」私はバスの中で両親に向つて大きな声で叫んで、しかられたことをいまでもおぼえている。あれは何才ごろであつたろうか、たしかな記憶はない。今年もいよいよ海水浴の季節になつたが、昨年とはくらべられないくらい涼しくて、とても海水浴には行けそうもない。早く暑くなつて海へゆき、水泳の練習をして上手になりたいと思つている。子供の時に「貴子たちは泳ぎにゆくんじやなくて浜でおやつを食べにゆくんでしょ」と笑われたことがあつた。でも海はやっぱり楽しい。たとえおやつなどもつてゆかなくても海は楽しく私たちの気持を明るくしてくれる(去年は海にゆけなかつたので泳ぎも前より下手になつたろうか。同級生の女の人たちには余り泳げる人がいないようだ。スイスイと気持よく魚のように泳いでいる人を見るたびに、早く練習をして上手になりたい。今年こそ海について思うぞんぶん泳ごう。早く暑くなつて海にゆきたい。2、3日前から夏らしい天気になつてきたので、ちかある全校海水浴の日がとても待ちどおしい。

Ĉar la vetero Somere migas de antaŭ
du aŭ tri tagoj, la tago de la futlerme-
jama nagado estas al mi senpacien-
ce en atendo.)

La sesa grada lernanto de Hanaxono
Elementa lernejo

s-ro Tomio Honma

En la nuntempa sezono, t.e. la so-
mnero, mi ĉiuj gelermentoj mature sop-
iras al la maron. la maro vasta me-
nur estas al mi la loko por eviti varmeg-
on. Sed ankaŭ por hardi korpon kaj plie
tran kviligi min mem kiel la ripozejo k-
onsolplena. Mi tial, treege ŝatas la ma-
ron. la grandioza kaj blua kontinento
estas tiel superplene akvoplemigis,
ke mi. kviete ĝin rigardante, ektimus
min esti ensuĉebla. kvankam eĉ juli-
oni de nuna jaro nur malmultaj iris
al marbamejon. mi senpacience kur-
aĝis nur unu fojon. En la marbordo
de Asari, kien mi vizitis, la lumo
de tiea marsupraĵo ŝajmas al mi
esperodomena, la ondosonojn kiel
"Zab-b-bu-u-uu, za-zat-t-t"
mi akceptas kiel kuragiĝi la koro-
jn de la malesperantoj. Certe ja, ce-
rte. Tamen mi miriĝas, kiel forte
elsonoras la ondoj. La maro eble estas
io vivanta. De antaŭ kelkaj cent
milionaj jaroj la maro longdaŭre aga-
das, kaj kiel tiu jen estas historike.
En la nuna Libertempo, mi hardu la
korpon kaj emocioti en la maro. Mi

夏になると、皆んな海にあこがれ
る。暑いからばかりでなく広びろと
した海は、体をきたえるうえ心も休
ませてくれるいい場所である。
僕は海が大好きだ。この広大な青い
大陸は満々と氷をたたえ、氷面をじ
つとながめていると、体までもすい
こまれるような感じにおそわれる。
今年七月に入っても涼しいので海
水浴に行く人は少ないけれど、僕は
がまんしきれなくてノ国行つて見た
。朝里の海岸であるが、あの海面の
光りは、なにか希望をあたえる光の
ように思われる。「ザブーン、ザブ
ーン」この波のひびきも、力をなく
した人に力を与えるような気がする
。そうだ、きっとそうだ。でもなぜ
あのような力強い波のひびきが出る
のだろうかと思議に思う。海は生
きているのだ。何億年もの昔から活
動しつづけている歴史の海だ。夏休
みにはこの海で体や心をきたえよう
。海は子供の最良の遊び場である。

kredas. Kela maro estas la plej bona
ludejo por mi geknaboj.

R. O. による北海道エス界 (IV)

坂下 清一

Leontodo が H. E. L. の機関誌になつた N-ro 11 に R. O. の Vol. 1 即ち、大正 9 年 (1920 年) からしばらくの間古い北海道のエス界を展望しようと思つて書きはじめてから、1 年半以上たちました。

N-ro 11 - 1920, 1921, 1922, 1923.

N-ro 12 - 1923

N-ro 15 ~ 16 - 1927, 1928

私が学会に入会したのは、1928 (昭和 3 年) を、1934 年からの R. O. は全部揃つておりますが、入会前のは S-ro Takase 寄贈の H. E. L. 蔵書によりました。残念なことに、1925 ~ 6 年 2 冊だけが引ついでおりません。誰かお借りした人は御返却下さい。前後しましたが、1924 年からつゞけます。

1924 (大正 13 年)

majo 109 内地消息 Hakodate - Ĉirkaŭante S-ron Takakuŭara, Kiu estas la plej agema esperantisto en la urbo, mi 14 samideanoj, unuanime kunigis kaj maskis, „Hakodate E-ista Societo” en lasta jarmaro de S-ro Takakuŭa. Ĉiun merkredon vespere mi kunvenas kaj aŭ lernas aŭ diskutas inter ni la lingvon, ĉefe pri la „Esperanta legolibro kaj krestmatio” de S-ro Ĉif. nia Societo ja estas tre malgranda, sed ni ĉiuj kredas obstime, ke la jami ekgerminta esperanta (arbo), kvankam ankoraŭ tre malgranda, past favoraj printempoj, povos ja kreski en grandan arbon, povos ja flori kun granda beleco kaj timos memian mimacon de meĝego, ventego au tertremego. „mi semas kaj semos, kaj memiam lacligas.” Invitante profesorojn, gazetistojn kaj aliajn ĉefulojn en la urbo, mi festis la morto tagon de D-ro Zamenhof kun floroj de „La Espero” paroladoj pri la

vivo kaj afero de mia majstro ktp. Tiam miere mi
ĉiam ne forgesas propagandi la lingvon en ĉiu okazo
de festoj. Vi, Karaj samideanoj ni petas viajn hel-
pon. (Raporto de S-ro Ŭatari)

junio 131 内地消息 Hakodate - Mallongan kurson oni mal-
fermis la 1a ~ 6a Apr. po 3 horoj de 14h. Lernantoj
konsistis el studentoj, bankistoj, komercistoj kaj kur-
austoj, entute 25p. kun kontentiga sukceso finiĝ-
is. En la lasta tago okazis teparteo. La 14an de spr.
por la memorigo de D^{ro} Zamenhof, Hakodate Esp.
Societo aranĝis publikan paroladon, laŭ jena pro-
gramo:

Malferma saluto. S-ro M. Kobajasi
Festema preĝo. S-ro O. Touatari (Okulisto)
pri Esperanto. S-ro I. Ŭatari (bankisto)
Esp. en Hakodate. S-ro H. Okaba (firmisto)
pri Esp-ismo. S-ro S. Hirobe (Oficisto)
Anekdoto. S-ro I. Kimosita (licenciato)
Karaktero de Gentoj. S-ro S. Joŝida (bankisto)
Lasta tago de D-ro Zam. S-ro S. Takakuŭa
Parolo de Himno Espero. ĉeestantoj.
Festema saluto. S-ro T. Niŝida (instruisto)
Komuna vespermanĝo.

nov. 236 写真 仙台に於ける日本大会記念写真に函館の高桑正吾、
吉田栄の2氏が見える。

nov. 238 内地消息 Hakodate - Nove elektigis S-ro O. Tora-
Ŭatari, kiel prezidanto anistataŭ S-ro Takakuŭa.
La XIV^{an} Japanan Esperantan Kongreson en 1926
oni votas ĉi-oiti al Hakodate.

dec 267 内地消息 Hakodate - De la 2a de okt.
Koonencigis la dekdua kurso de Esp. En la urbo por
2 monatoj, sub la gvido de S-ro S. Takakuŭa (gra-
matiko) kaj de S-ro S. Asada (legaĵoj), en la oficejo de
l' Societo, kun 141. (Raporto de S-ro S. Takakuŭa)

HEL蔵書目録 (IV)

Esperanto - Lernanto	500p	1933
"	500"	1934
La fera kalkanumo	359"	1930
Ĉirkaŭ la mondon hom la verda stero	272"	1933
ハイネ詩集	74"	昭3
AELITA	199"	1928
La vojo returne	369"	1931
童話読本	44"	1935
世界語の歴史	464"	昭9
模範エスペラント会話	124"	昭5
El slava litera turo	73"	昭9
(エスペラント模範練習読本、白珠集 イソツナ物語、 文法、エスペラント助詞詳解、前置詞、全副詞)	合本	1920
La Teksto Unua de Proleta Esp. Kluso	40p	1931
Zmamemka	15"	1931
Marjo	31"	1929
La milito en malproksima oriento	32"	1933
Cours methodique d'Esperanto	133"	1909
Verda Pavmaso	126"	昭7
Fabeloj de Ezopo	69"	1932
Karcero	163"	1937
Ora Libro de la Esperanto-Movado	221"	1937
Venda Matemo	36"	昭3
Bela Joe	310"	1929
エスペランティストの想い出	156"	昭5
Praktika korespondo en Esperanto	306"	昭7
Jarlibro unua parto	261"	1952
北政篇	84"	昭11
Unua legolibro	101"	1932
Legu kaj parolu!	208"	1925
Vortoj de Macue Sasaki	123"	昭9

La Submarinistoj	116 ^P	1932
イスベラント前置詞略解	419	昭18
Petro	55	
Ivan la malsaĝulo	61	昭9
La Dek bildoj de Bopastado		1930
VerdKata Testamento	121	1936
Vivo de Zamenhof	109	1928
La Sauranta - Muka - parivarto	34	1933
イスベラント講習用書 (小坂)		1933
Georgo Dandan	51	1930
Rabeno de Baharaĥ	67	1924
Revizoro	99	1928
hevidoj	71	1912
Lingvaj Respondoj	94	1927
La interrompita kanto	79	1928
Kondukanto	183	1906
Fundamenta krestomatio	460	1931
Hamleto	176	1921
Plena Vortaro de Esp.	517	1930
Art historio	100	1934
Fabeloj de Andersen	39	1923
Rusaj Rakontoj	47	1924
Inferno	282	1933
Kompleta Gramatike	187	
La Komunista Manifesto	48	1948
Johano la brava	62	
Interpopola konduto	154	1935
La Revuo Orienta	348~360	1933~6
Verda karto	183	昭6
malŝato en Rica rikolto	46	1949
Gracia	22	昭5
Aŭskultu La Voĉon de Oceano	53	1951
La patro verenas	30	昭1
Amo de Toojuro	88	1934

Italaj Rakontoj	75 ^冊	1922
La vortoj de konfucio	87	1923
Moto libro de praktika Esperantismo	125	1934
Eterna Bukedo	350	1931
Mi legu!	110	
千布 エスペラント読本及文範	253	1922
作詩法講義 (小坂)	16	1924
Rigardm la teron	449	1936
Zamenhof-Radikaro	84	1927
Originala Vokaro	604	1929
La kado de Kronprinco Sootoku	24	1932
外国語辞典	52	1940
Japanaj Fabeloj	38	1933
国際通信の常識	126	1934
La laborista Esperantismo	37	1928
Rakontoj de Velkinta Folio	40	1953
エスペラント 日常会話用句	オ1集、オ2集、	

HEL 蔵書として、4冊に分けて発表しましたが、S^{ro} 相沢から数冊に渡つて本部に運び込まれ、途中で北大の展示会に出したりしたので、雑然とした目録になりました。ザメンホフの著書 *Georgo Dandam*, *Hamleto* その他 *plena Vortaro* 或は二葉亭の *世界語* 等貴重な書籍も少なくありません。戦時中、散逸を防いで防空壕へ真先に保管して下さった S^{ro} 相沢に感謝すると共に、殆んど大半寄贈して下さいました福田仁一氏、高瀬栄一氏、その他の諸氏に改めてお礼を申し上げます。尚、書名、著者、発行所、サイズを日本版、外国版、叢書名、科学、文芸、地理、丁史等に分類して一覧表を作成する予定です。

(坂 下)

(P. 21 より)

大会にて、昏林のお耳を汚しましたが、発表させていただきます。4部合唱に編曲したのもありますが、まだ実験したことなく(機会なくして)自信ないため、メロディーのみ発表させていただきます。

星 田

Akra la sabreto (ŝablenka brúŝená)

Gaje *f*

1. Akra la Sabret-o estas edz-in-e-to.

2. Ne Sur paj-lo mlor-tos mi, sed en ba-ta-lo,

p

ĝi-min de-fend-sa-vos tuj al mi-a pe-to,

kaj Sab-ret' ek-so-mos tuj post mi-a fa-lo,

f

hu-ja-ja, hu-ja-ja, hu-ja-ja, hu-ja-ja,

p

ĝi min de-fend-sa-vos tuj al mi-a pe-to

kaj Sab-ret' ek-so-mos tuj post mi-a fa-lo

Kial ne venis vi (Proč jsi k nám nepřišel?)

Sopireme

mf

1. Ki-al ne ven-is vi? Vin ja a-

2. prem-is min la so-pir', ven-is la

3. Aĥ, fin-e mi kuni ĝoj' vid-as je

tend-is mi, hej-mie mi ja sid-is, fe-mestr-en

sum-sub-ir', a-per-is jam la tuno, vid-is vin

re-a foj' vin ki-el al mi jam flustre-tas

rit

mi' vid-is, kar-ul-o mi-a.

eĉ ne nun, a-ma-tin' vi-a.

en la am': A-ma-tin' mi-a!

Infankanto "Flugu miaj semoj"

— Al Leontodo —

Flugu, flugu miaj semoj
tra l'aero en la Suni,
trans herbejon, vivereton,
trans monteton flugu nun!

Flugu, flugu miaj semoj,
trans la valon per flugil'
trans la baroj kaj arbaroj
Vasten tra la Suna bril'!

Alten flugu miaj semoj,
pli ol montoj, nuboj, ĵen,
vasten flugu ĉium vojon,
al la kampoj, al ĝarden!

Ĝermu, kresku miaj semoj,
ĉie verde sur la ter';
ĵam ekfloru pacā floro
vive brile en esperi!

1/X/56

I. U.

K-do I. U (伊東三郎氏) の poemeto "Al Verda Kampo" を、
LEONTODO 誌上に転載させていただきたいとの私の post karto に
対し、彼からこの詩が送られて来ました。50jara jubileo を迎える今日、
この大先輩から北海道の我々に寄せられたものとして受けたいと思います。

Ni semas kaj semas, memiam lacigas
pri l'tempoj estontaj pensante

— L. L. Zamenhof. —

この La Vojo. の一節が思い出されます。

Flugu miaj semoj, の semoj も勿論この意味だと思います。

(星 田)

会 員 名 簿

吉 田 栄	函館市船見町 43
仁 保 武 親	“ 宮前町 19 細田方
渡 辺 由 美	“ “ 24 西別院出張所内
小田島 栄	“ 外上成町久根別 7
藤 原 信 吉	“ 港町鉄道公社 85の2
✓カ 毛 セツコ	室蘭市知利別町 3-103
元 谷 清	“ 高砂町 46 高砂カ一寮
鈴 木 政 治	“ 幸町 34
✓丸 子 久 子	“ “
星 田 淳	支笏湖局区内干文カ一寮電所
↓山 賀 勇	小樽市花園町東 3-11
✓高 橋 達治 ^子	“ 桜町 307
江 口 吉	“ 奥沢町 4-22
早 川 昇	“ 緑町 2-2
前 田 幸 一	“ 花園町西 2-17
繁 田 ミ子	“ 張碓町 171 村田方
↓土 田 虎 幸	“ 清水町 34
横 山 良 勝	“ 梅ヶ枝町 44
✓山 本 昭二 ^子 郎	“ 清水町 34
中 沢 天 限	“ 花園町東 4-22
上 ^参 郷 登 茂	“ 緑町 1-1
井 上 幸 枝	“ 若竹町 142
✓坂 下 清 一	札幌市北ノ 東 9
✓アリマ 三ハル	“ 北 24 西 9
✓相 沢 治 雄	“ 菊水東町 7
高 橋 要 一	“ 大通 東 8
✓西 里 静 彦	“ 南 16 西 5

✓ 木	村	喜代治	札幌市南16 西17
瀬	近	庄次郎	" 北16 東1の9
板	内	和男	" 北13 西3
面		忠雄	" 北12 西2
ナ	ガ	ア	" 北2 西17 道庁公宅56号
桐	生	育保	" 北12 西14
東		隆	東京都千代田区紀尾井町参議院宿舍
✓ 河	野	広道	札幌市北18 西6
高	木	貞夫	" 南13 西13 吉村方
山	路	彰峰	" 北14 東7
柳	沼	悦子	" 琴似町官ノ森439
真	崎	健夫	" 北10 西3
後	藤	義治	" 南2 西8 若山方
葛	西	藤三郎	" 伏見町15/2
浪	越	香夫	" 南5 西3
久	保	吾久治	" 南15 西6 千葉宣一方
小	川	信昭	" 北10 西3 副江幸方

坂	本	厚三	千代郡恵庭町役場前
✓ 松	尾	文夫	江別市緑町東4 江別製粉KK内
新	田	慈男	夕張郡由仁町字三川
泉	谷	昭典	" " " 川端
外	山	雅子	" " 西通147
岡	本	義雄	空知郡三笠町幾春別東区旭丘
武	田	昭	赤平市平岸東町7
田	辺	至	函館郡深川町 深川東高校寮内

高	濱	正栄	旭川市春光台5区 (10/2)
✓ 池	島	与三吉	5条通 23丁目22
山	崎	久蔵	" 北門町9 学大分校
竹	吉	正広	" 9条9丁目右1
木	津	義雄	" 1条9丁目左4
✓ 新	井	静太郎	旭川市坊基準監督署内

奔 藤 圭 司 厚田郡厚田村大字別狩村 8
 高 橋 正 与 帯広市西2条11丁目 猪股方
 ✓ 菅 原 鉄 雄 勇払郡厚真村字土厚真土周文
 三 田 智 大 天塩国土別局区内 別市豊岡通り
 イト - セイ子 北見市舟町 24

客 員

大 木 光 己 東京都目黒区中根町 79
 工 藤 尚 北多摩郡国立町東区 95
 ✓ 児 王 広 夫 目黒区柿1木町 322 道庁公宅
 香 藤 翠 板橋区板橋町 6 の 3442 遠藤照源方
 田 中 真 美 山口市後河原字吉田 49-3

H E L 収 支 報 告

収 入 之 部		支 出 之 部	
30年度会費	200 ^円 × 2 = 400	#4 報告不足分	1,697
31年度 "	200 ^円 × 41 = 8,200	#5~16 印刷代	4,200
"	100 ^円 × 1 = 100	送料及通信費	890
"	50 × 1 = 50	振 替 料	30
旧号販売	600		
振替貯金利息30年度分	93		
寄附金	2,580		
大会ヨリ報告書印刷代	1,500		
計	13,523		6,817
	差 引 残 高	6,706	

寄附金内訳	坂下清一 札幌	300	池島与三吉 旭川	200
	山賀 勇 小樽	1,000	葛田肇三郎 札幌	200
	小田島栄 函館	80	計	2,580
	吉田 栄 "	200	註. 吉田氏他5名の方は31年度会費	
	木津義雄 旭川	400	として4月と9月重複して送金になりました	
	岡本義雄 袋春別	200	ので32年度分とせず寄附金として扱	
			いました。御諒承下さい。	

上記の様に残高 6,706円から#7号の印刷代 4,200~4,500円を差引くと2,500円程しか
 残りませんが31年度会費は現在45名より頂いており、ませぬので今後15名は確実
 に入金の予定ですから少くとも31年度最後の#8号は出せます。何卒まだ会費
 をお払込みなさ方は至急御納入下さる様お願い申し上げます。

第20回北海道エスペラント大会報告書

日 時 1956年9月23日(日) 10時 ~ 16時
 会 場 札幌市 北海道町村会館大講堂
 主 権 北海道エスペラント連盟

準備委員会
 委員長 アリマ ヨシハル
 委員 高橋 愛一
 相沢 治雄
 坂下 清一
 西里 静彦

大会役員
 大会会長 坂下 清一
 司会者 高橋 愛一
 受付係 アリマ ヨシハル 西里 静彦
 記録係 西里 静彦

プログラム
 9.30 ~ 10.00 受付 村
 10.00 ~ 12.00 大会(その一)
 12.00 ~ 13.00 記念撮影・昼食
 13.00 ~ 14.00 大会(その二)
 14.00 ~ 16.00 こんしん会

第20回大会は、サツポロの同志により準備委員を結成し、別項の準備委員が数会の会合をおこなつて、開催期日を9月23日にきめ、サツポロ市の北海道狂生会館で開くことに決定し、全道の同志155名にめて、招待状を発送、大会の準備をすゝめた。なお参加者が増加する見込みが強くなったため、会場を北海道町村会館の2階大講堂に変更した。

1956年9月23日は秋分の日にあたり、秋空はからりと晴れ第20回エス

ペラント大会にはふさわしい日であつた。開催時間が迫るにつれて、オタル、ユニ方面からの同志も続々とつめかけ、今年はムロランから f-inoj が3名も参加し、それにサツポロ在住の f-inoj 4名が加わり、20たび回を重ねて来た大会中もつともなごやかな atmosfero のみなぎつた会合になることを楽しみに受付もいそがしい。そのうちに開会の時間がせまり、一同着席し、開会のあいさつを待った。

1. 開会のコトバ

10時少し過ぎて、司会者 S-ro 高橋要一の落着きある Malferma saluto によつて大会が開かれた。

Karaj gesamideanoj! Jam estas la tempo malfermi la kunvenon de la 20a kongreso de Hokkaido-esperantista.

Hodiaŭ mi kunvenis el diversaj lokoj en tuta-Hokkaido por paroladi, diskuti aŭ interkomunikiĝi unu la alian.

Bonvolu farigi signifo-plena la kunvenon per nia sankta movado.

2. LA ESPERO 斉唱

参加者 33名の Gesamideanojによつて力強く、そしてエスペランチストでなくては味合えない感激をもつて、声高らかに Espero が斉唱された。

3. 準備委員長のあいさつと大会々長選出

S-ro アリマヨシハルから大会準備についての報告があり、招待状往復ハガキで155通出して1通戻り、約半数の75通の返事があつたことなどの報告があり、終つて司会者から大会々長の選出方法が大会にはかられ、HEL委員長サツポロの S-ro 坂下清一をすいせんする声あり、万場一致拍手をわけて同氏選出に決定。

4. 大会々長のあいさつ

S-ro 坂下清一から次のとおりエス語によるあいさつがあつた。

*Estimataj Fratinoj kaj Sinjoraj ĉe estantaj,
Sub la verda standardo, mi havas honoron saluti vi
en la nomo de ĉef komitatano de Hokkaido Esperanto
Ligo. Estas tre granda ĝojo, ke tin ĉi kongreso farigas
la jubilea de Esperanto movado en Japanujo, ĉar*

mi havas la 50 jaran datorevenon post la enkonduk-
iĝo de Esperanto en nian landon, kaj plie hodiaŭ ni
havas 20an kongreson en Hokkaido. Estas do displi-
granda ĝojo por ni, ke tiu ĉi kongreso estas memori-
nda festo de l' 50 jara jubileo, kiu havas grandan
signifon en la historio de la Esperanto movado.

Kiel ĉef komitatano de Hokkaido Esperanto Ligo,
mi esprimas al vi mian sinceran bonvenon!

Felice hodiaŭ oni vidas sufiĉe multan nombron da
partaprenantoj el ĉiu loko de Hokkaido.

mi tre ĝojas kaj esperas, ke ĉiuj samideanoj trovu
bonan tempon dum la kongreso.

Samideanoj, ni ĝoju, mi kune ĝoju hodiaŭan feston.
ni manpremu reciproke, instigu denove la amon kaj
idealon, kiuj estas egale sentataj en nia koro, kaj ni
kunvenu seroĝe kaj konkorde. nia jubileo do fori-
ĝos tiamaniela grava memoraĵo en la historio de
Esperanto movado en Hokkaido.

5. 自己紹介と短いあいさつ

ユニの S-YO 新田滋男が病気のため出席出来なくなったと報告され、上
厚真の S-YO 菅原から「ヤマニテユケヌ ゴセイカイタイノル スカワ
ラ」との祝電と奥春別の岡本義雄からの祝辞の披露があつて、33名全員に
よる自己紹介と短いあいさつが、或は Esperanto で、或はニッポン語で
、旧同志は昔をしのびつゝ、新しい同志は希望をこめて発表された。

6. 地方会活動の報告

各地方会の活動報告が各代表によつて次のようになされた。

a) 札幌から、S-YO アリマヨシハルによつて、日本エスペラント運動50周
年記念行事にならつて4月14日、新旧同志の会合、S-YO 相沢による北海
道新聞への「エスペラントの実用性」という記事連載、6月12日、北大
の真崎健夫博士、宮原尊平博士、西忠雄教授等を交へて、古い同志を囲
んでのエスペラント座談会、7月15日 (Gesamideanoj) による pikni-
koの実施と、北大エス語研究会主催の8月のエス語講習会、9月の北大
創基80年記念学校祭記念エス語展示会への援助等について報告があつた。

b) 小樽から、S-YO 高橋隼治によつて、イギリスのウースター夫人を迎え

たどきの話、S-yo早川昇によつて、小樽仏教エスペラント研究会の運動
についての話があつた。

- c) 由仁から、S-yo泉谷昭典によつて、S-yo新田滋男入鹿のためやむなく
活動は中止されていると報告された。
- e) 室蘭から、F-imoカモセツコによつて、室蘭にはまだエス会と名のつ
くものがないが、毎週金曜日に図書館でS-yo平田岩雄を中心に研究会
を開いており、いずれはエス会を組織して運動を活発におこなう予定な
ので、ご協力をせうとの報告があつた。
- d) 北大エス研究会の、S-yo西里静彦によつて、1955年未北大生のため
の初等講習会をきっかけに北大内にエスペラント研究会を作り、5月に
再び北大生への講習会を開いて研究会の内容を充実させ、8月中延べ2
週向一般人を相手の初等講習会を開き、エスペラントの宣伝につとめ、
9月16日には北大南基80年記念エスペラント展示会を開き大成功を納め
たこと事について報告された。
- e) 藤女子短大エス会のF-imo永田明子によつて、9月29日、30日に学校祭
に開くエスペラント展示会等により学校先生方に理解を深めてもらつて
エスペラントの研究を校内にもひろめて行く予定と報告された。

7. 北海道エスペラント連盟報告

坂下委員長よりHESLの1ヶ月の動きを報告し、特に機関誌「レオント
ード」に対する投稿協力方熱望があつた。

8. 記念撮影と昼食

会場町村会館の正面玄関前に全員が並び、札幌、小樽の会旗 Verday st-
andardo) と室蘭のF-imoカモが持参した Verda slo) のノレンを前に持
つて記念撮影をおこなつた。ひざつづき昼食にうつり、13時から午後の部
にはいることになつた。

9. 議題の説明と審議

坂下議長より、大会案内状の回答欄に申出た議題に就いて説明あり、審
議に入る。

- S-yo 早川 (1) 文通希望欄を“Leontodo”に設けられたい[賛成可決]
(2) 北海道風物生話誌をまとめた[Leontodoに逐次掲載
してまとめることにしたい]

S-yo 高瀬 初等講習会をひんぱんに開いてほしい。

S-yo 後近 小中学生むぎの講習会を学制的に開催する工夫はないか、
[会場及講師などの諸問題、経費等を検討して実現に至るよ

う努力したい。それについての各案があつたら Leontodo に
発表して頂きたい]

S-ro 新田 9月23日の祭日は当地の祭日で毎年大会と重なり困る。変更
出来ないものか〔御希望にぞいたい〕

S-ro 田辺 大会後どこか見学するよう機会を作つて欲しい。
〔今年は祭日で新南社、ビール会社、古谷製菓、雪印乳業どこ
もだめでした。祭日でない日を選んで御希望に沿いたいと思
います。どんなところを御希望になりますか御意望おもらし
下さい〕

S-ro 松尾 活潑な Ekspozicio について
Fino カモ 療養所内で展示会、講習会を行つてはどうか。N
HKでラデオ放送をして欲しいと署名運動をしている。

S-ro 木村 現在ではラデオ放送を行うまでにいつていない。
〔各自が一生涯命にやつて欲しい。展示会のためにHELの旭
皆の持っている資料目録を Leontodo に発表し便宜を計らひ
ましょう〕

S-ro 西里 分科会を持つて欲しい〔現在の状態では不可能だがそのような
方向に持つて行きたい〕

S-ro 早川 世界連邦運動とエスペラント運動を結びつけては如何か
F-imo 永田 替成論と世界連邦について語る。

D-ro 河野、S-ro 西里 S-ro 屋田 S-ro 相沢

現在の状態ではまずい。各自の自由意志にまかせるべきだ。

S-ro 高橋(要) あくまでもエスペラントを中立的なものとし
て行きたい。〔HELの議決とせずに、替成者が集つて分科会
の様な形でもつてゆくこと〕

S-ro 葛西 S-ro 木村 世界連邦運動の性格をよく知つてから
の向題である〔御意見を Leontodo に発表して欲しい〕

10. 北海道エスペラント連盟規約一部改正

別項のHEL規約参照

11. HEL役員改選

別項の役員名録参照

12. 27回大会開催地の決定

期日としては明年の9月23日除いた日に、室蘭または小樽で開催するこ
とに決定。

こんしん会

14時半からこんしん会にうつり、まず S-ro 相沢から、アルゼンチンの Gedoktoroj Scolnik (姉弟) が9月5日札幌に来られたこと、しかし東京、仙台からの連絡がうまくゆかず在道の Gesamildanoj に連絡がとれず、ただ S-roj アリマと坂下の2人だけしか面会出来なかつたことの話があり、ついで S-ro アリマから Ged-roj Scolnik が同氏宅に訪ねて来られたときの話、S-ro 坂下から Ged-roj をその宿泊所の都旅館に訪ねたときの話があつた。

小樽の S-ro 早川から Esperantistoj の世界連邦への加入について意見が出され、それに対して賛否論がにぎやかに交わされたりして、今年の大会は生気にあふれた集会であり、それに、多数の F-inoj の参加によつて印象深いものとなつた。また S-ro 曲里の独奏によるギターの調べ「ラリアーネ祭り」「愛のロマンス」(禁じられた遊び)、「雨だれ」、S-roj 星田、早川、琴面の Esperanto の Kantoj も忘れられないものとなつた。

LA TAGIGO の斉唱

行事も終りに近すぎ、地方へ帰る同志の時間のことを考え、おしくも聖歌 Tagigo、斉唱の時となり、全員起立して声高らかに斉唱した。

閉会のゴトバ

16時過ぎ S-ro 高橋要一の閉会のゴトバを最後に全行事を終えた。来年の再会を約して、小樽へ、室蘭へ、支笏へ、由仁へそれぞれ別れて行つた。

今年の見学先は、北海タイムス社の予定だつたが、運悪く新聞社の公休日で見学は取り止めることになつた。

☆ Vortareto "Semo de Esperanto"

JELLE (日本教育者エスペラント連盟) 発行の

小型 エス和、和エス辞典、文法付。

会話、文置の手引もあり。

ポケット型 100頁 100円 安価実用的学習書

Bonvole multe disvandu, J. U.

北海道エスペラント連盟規約

1. この連盟は、北海道エスペラント連盟 (HOKKAIDO ESPERANTO LIGD) といい、事務局を札幌市におく。
2. この連盟は、北海道在住のエスペランティストの中の希望者または、地方会各団体で組織する。
3. この連盟は、北海道におけるエスペラントの宣伝と実用をはかり、民主的文化の向上に寄与し、世界的な交流をはかることを目的とする。
4. この連盟は、目的達成のため次の事業をおこなう。
 - a. 機関誌、印刷物の発行
 - b. 講習会、展覧会等の開催
 - c. 日本エスペラント学会、その他のエスペラント団体との協働
 - c. 内外諸文化団体との提携
 - d. その他
5. この連盟は 年1回、北海道エスペラント大会を開催する
6. この連盟に、次の役員をおく
委員長 1名 事務局長 1名 常任委員および委員 若干名
7. 委員長は、この連盟を代表する
8. 各委員の任期は、定期大会から次の定期大会までとする
9. この連盟の会費は、1名につき年額 200円とする
10. この規約は、大会の決裁がなければ変更することができない

1946年 9月 22日 決 定

1948年 11月 3日 第1回改正

1954年 9月 23日 第2回改正

1956年 9月 23日 第3回改正

北海道工スペラント連盟の新役員一覧

(1954.9.23 改選決定)

委員長	坂下清一	札幌市北ノ東9 (北工電気株式会社社長)
事務局長	相沢治雄	札幌市菊水東町7丁目 (定山溪鉄道電車々庫助役)
常務委員	アリマヨシハル	札幌市北24西9 (北海道庁発着営繕部計画課長補佐)
	高橋要一	札幌市大通東8 (北海道ヒラノ荷札K.K勤務)
	西里静彦	札幌市南16西5 (北大学生)
委員	山賀 勇	小樽市花園町東3-11 (山賀眼科医院社長)
	高橋達治	小樽市桜町307 (小樽海員学校教官)
	✓ 平田岩雄	室蘭市東町日鋼社宅東雲298 (日鋼社員)
	新田為男	夕張郡由仁町字三川 (由仁町収入役)
	藤井沢司	岩見沢市4条西15丁目 (岩見沢保健所職員)
	竹吉正広	旭川市9条9丁目右ノ号 (旭川郵便局)
	菅原敏雄	勇払郡厚真村上厚真 (中学校教員)
	吉田 栄	函館市船見町43 (銀行員)

大会々計報告

収入の部	支出の部
大会々費 出席参加費 $150 \times 35 = 5,250$	会場費 (町村会館大講堂) 1,500
欠席参加費 $*100 \times 18 = 1,800$	こんしん会費 (茶菓 35人分) 1,050
寄附金 (内訳不詳) 700	写真代 (58枚 JEIへの分給) 1,740
繰越金 (19回松小樽別) 514	報告書代 1,500
	通信費 (写真、報告書送料その他) 1,000
	雑費 (往復ハガキ155枚フィルム) 2,327
	安全ピン用紙インクその他
計 9,264 ^円	計 9,117 ^円
残高 (来年度へ繰越す分) 147 ^円	

☆ 欠席参加申込着で、会費未納着4名分400円は受入次才繰越金に加算します。

寄	村	金	内	誤					
	木	津	義	雄	氏	200	ア	リ	マ
	吉	田		栄	氏	200	西	里	静
	高	橋	要	一	氏	50	山	崎	久
	坂	下	清	一	氏	50	相	沢	治
							雄		氏

計

700

●印は欠席参加者

1.	札	愧	高	橋	要	一	30	小	樺	横	山	良	勝
2	札	愧	坂	下	清	一	31	小	樺	畑	山		紀
3	●旭	川	池	島	与	三	32	支	笏	星	田		淳
4	小	樺	江	口	首	吉	33	小	樺	高	橋	達	治
5	小	江	松	尾	文	夫	34	小	樺	高	土	虎	幸
6	札	愧	高	木	真	夫	35	●函	館	辰	田	由	美
7	小	樺	早	川		昇	36	●東	京	大	木	克	己
8	●小	樺	山	賀		勇	37	●深	川	田	木		至
9	札	愧	ア	リ	マ	ヨ	38	●函	館	吉	田		栄
10	●北	愧	イト	セ	イ	于	39	●由	仁	外	山	雅	子
11	札	愧	山	路	彪	峰	40	●帯	云	高	橋	正	興
12	札	愧	西	里	静	彦	41	小	樺	前	田	幸	一
13	小	樺	山	本	昭	二	42	札	愧	前	村	和	子
14	札	愧	桐	生	育	保	43	●旭	川	竹	吉	正	広
15	札	愧	ナ	ガ	タ	了	44	●札	愧	柄	内	和	男
16	室	蘭	力	毛	セ	ツ	45	●函	館	小	田	和	男
17	室	蘭	佐	藤	京	子	46	●旭	川	山	崎	久	誠
18	●小	樺	佐	藤	三	子	47	●札	愧	山	崎	将	平
19	●旭	赤	木	武	三	雄	48	●札	愧	山	崎	庄	隆
20	●旭	赤	木	武	三	雄	49	●札	愧	山	崎	治	雄
21	●由	仁	高	新	正	義	50	●札	愧	山	崎	治	道
22	●由	仁	高	新	正	義	51	●札	愧	山	崎	治	道
23	●小	樺	高	新	正	義	52	●札	愧	山	崎	治	道
24	●小	樺	高	新	正	義	53	●札	愧	山	崎	治	道
25	●小	樺	高	新	正	義	54	●札	愧	山	崎	治	道
26	●小	樺	高	新	正	義	55	●札	愧	山	崎	治	道
27	●小	樺	高	新	正	義	56	●札	愧	山	崎	治	道
28	●小	樺	高	新	正	義	57	●小	樺	山	崎	治	道
29	●小	樺	高	新	正	義							

計

57名

あとがき

日本エスペラント運動50周年記念大会が開催せられる意義ある本日、北海道エスペラント連盟の機関誌「レオントード」N^o17号を発行出さしまして、一寸重荷をおろした感じです。才20回北海道大会でもお願いしたように、皆様の機関誌にどしどし御意見なり作品の発表を賜りますよう改めてお願いいたします。大会に御参加の皆様にはプロトコーロや写真のおぞくなつたことをお詫び致します。

11月4日に東北エスペラント連盟の結成大会が仙台市で挙行されました。HELから御祝辞を送りました。11月10日の記念大会にはHELからメッセーヂと諸報告を送りました。どちらも盛大なKongresoであつたこと、思います。日本国中のエスペランティストと手をつないで、北海道でも強大な運動のたゆまざる歩みを進めたいと存じます。函館、旭川の皆様、名簿にあるように同志が健在なのですから昔のように活潑な会を結成されんことをお願いいたします。

(坂下記)

表紙についてのお願ひ

「Leontodo」が小樽エスペラント協会で出されていた頃は、山本昭二郎君の献身的なServoで、特に表紙は数色刷りの美しいもので、lokaĵ gazetojのpremioを頂いた程です。HELの機関誌となつた今も色々お世話になっていますが、表紙のことではいつも頭をなやましています。表紙をどうすればよいか皆様の御意見を賜りたいと存じます。今迄美しい表紙であつたLeontodoですからやめるのも残念ですし、毎度変えるのも表紙画の選択で大変ですし、表紙の絵を皆さんから募集したらどうかとも考えました。今度取取えず坂下の案にしました。

何卒、表紙を如何にすべきか、御意見を御発表下さい。

LEONTODO

N^o 17号

発行 1956. 11. 11
発行人 北海道エスペラント連盟
札幌市北1条東9丁目
坂下清一方
会費 年額 200円 (HEL会費)
(年4回発行配本)